

【高等学校】 【地理歴史科 日本史探究】の自ら学習を調整する活動に重点を置いた授業実践

日 時 令和6年9月17日（火）～9月25日（水）

対 象 岩手県立花巻南高等学校 第3学年 日本史探究選択者

授業者 総合教育センター 主任研修指導主事 高橋 正幸

1 単元名

第3節 国際関係の推移と近代産業の発展
国内産業・交通と人々の生活・文化

2 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解すること。	欧米の思想・文化の影響、産業の発展の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現すること。	近代における日本国内の経済・産業・生活・文化の変化について、主体的に追究すること。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯を理解している。 ②学問の発展や教育制度の拡充などを基に近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解している。	①欧米の思想・文化の影響、産業の発展の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現している。	①近代における日本の経済・産業・生活・文化の変化について、主体的に追究しようとしている。

4 自ら学習を調整する活動を促す学習指導

視点1「学習の見通し」●学習の進め方シートでの学習過程の把握と評価内容の把握

ア 第1時から第5時までそれぞれの学習の進め方を、フローチャートで示し、1単位時間での学習活動の流れから課題解決の見通しをもてるようにする。また、それぞれの時間での中心となる学習活動を太字で示すことで、何を行いどうすればよいのかゴールを確認できるようにする。

視点2「学習課題を解決するための学習活動」●知識構成型ジグソー法を用いた課題解決

イ 第1時、第2時では、日本が近代国家として国際社会から認められた時期について、アプリにある年表にその時期をマークし合い、なぜその時期なのか、またはそれを認めさせた日本の力は何で付けられたのかについて考え、課題解決の見通しを立てる。

ウ 第3時から第5時では、学習課題について各自集めた情報をグループごとにシートに集約する。互いに閲覧し合い、そこで得た新たな視点や気づきを、単元シートに個人でまとめる。

視点3「学習の振り返り」●単元シートでの学習内容の把握と振り返り、新たな問いの表現

エ 単元シート（ポートフォリオ）を使用し、「小単元全体に関わる問い」「予想」「学習課題」・「まとめ」（各時）を記入し、単元での学びに連続性をもてるようにする。また、単元の最後に自分の予想に対して、学習内容を踏まえて「小単元全体に関わる問い」をまとめられるようにする。

5 単元の指導と評価の計画（全体5時間）						
時	学習活動	指導上の留意点	評価の観点			評価規準・評価方法 ◇評価[]評価の観点 ◆生徒が自ら学びを調整する学習指導
			知	思	態	
1・2	これまでの学習の振り返りをしながら、ワークシートを活用して明治中期以降の政治・外交の流れを確認する。	明治初期の政治の流れは説明で触れる程度とする。				
	学習課題「日本が世界から近代国家として認められた時期はいつか。そしてその理由とはなんだろうか。」					
	- グループで話し合い、考えをまとめる。 - 考えを共有し、新たな気付きや考えを踏まえ、単元シートにまとめる。	単元シート、学習の進め方シートを配付し、手順と評価内容の確認を促す。	●			◇[知識・技能]① ◆手立て イ
	小単元全体に関わる問い 「産業・交通の発達、教育の拡充、西洋文化の積極的導入のうち、あなたが最も明治時代を特徴づける要素はどれだと思うか、根拠を基に記述しなさい。」					
	小単元全体に関わる問いに対する予想を記述する。				●	◇[主体的に学習に取り組む態度]① ◆手立て エ
3・4	学習課題「日本の産業革命はイギリスと比較し、どんな共通点と違いをもっていたのだろうか。また、日本での産業革命は人々に何をもたらしたのだろうか。」					
	学習の進め方シートで本時の学習活動を確認する。	日本とイギリスを比較することにより、日本の産業革命の特徴と近代化に果たした役割を理解することが本時のゴールであると伝える。				◆手立て ア
	3人または4人グループを編成し、役割分担を行う。	グループの中で役割を分けるよう指示する。				
	- それぞれの担当で集まり、調査項目の分担を行い、アプリに調査結果を入力する。 - 元のグループに戻り、PowerPointにある比較表を作成する。 - 単元シートに日本の産業革命の特徴と近代化に果たした役割について簡潔に記述する。	イギリス産業革命の内容については、動画URLをTeamsに格納し、随時視聴できるようにする。	○			◇[知識・技能]① ◆手立て ウ
	単元シートの振り返り欄（振り返り）へ記入する。			○		◇[思考・判断・表現]① ◆手立て ウ
					●	◇[主体的に学習に取り組む態度]① ◆手立て エ

※表中の●…学習改善につなげる評価として生徒の学習状況を確認 ○…評定に用いる評価として記録

学習課題「西洋文化はいかに導入され、教育制度はどう普及していったのか。そして、人々にどんな影響を及ぼしたのだろうか。」						
5	- 学習の進め方シートで本時の学習活動を確認 - 前の時間と同じグループで行う。 - それぞれの担当で集まり、調査項目の分担を行い、アプリに調査結果を入力する。 - 元のグループに戻り、PowerPointにあるシートを作成する。	- 教育の普及と欧米思想・文化の広まりが人々の暮らしや意識をどう変えたかを解き明かすことが本時のゴールであると伝える。 - グループの中で役割を分けるよう指示する。 - 中学校での既習事項（教育の普及、新しい近代文化）については、簡単な音声付スライドをTeamsに格納し、随時視聴できるようにする。	○			◆手立て ア ◇[知識・技能]② ◆手立て ウ
	- 単元シートに教育の普及と欧米思想・文化の広まりが人々の暮らしや生活をどのように変えたかについて簡潔に記述する - 単元シートの振り返り欄（振り返り）へ記入する。		○			◇[思考・判断・表現]① ◆手立て ウ
				●		◇[主体的に学習に取り組む態度]① ◆手立て エ
小単元全体に関わる問い 「産業・交通の発達、教育の拡充、西洋文化の積極的導入のうち、あなたが最も明治時代を特徴づける要素はどれだと思うか、根拠を基に記述しなさい。」						
	- 第1時での予想に足りなかった点や修正した点を追記する。 - 単元のまとめ欄への記入を行う。 - 単元シートの単元の振り返り欄（振り返り）へ記入する。 ○自分の学習活動 ○学習活動を通して、新たに起こった疑問	- 学習活動を進める上で、生徒自身が工夫した点や粘り強く取り組んだ点、自分の考えに影響を与えた他者の意見も踏まえて記述するよう指示する。 - 現代につながる明治時代の学習を通して起こった疑問を記述するよう指示する。			○	◇[主体的に学習に取り組む態度]① ◆手立て エ

※表中の●…学習改善につなげる評価として生徒の学習状況を確認 ○…評定に用いる評価として記録

6 生徒が自ら学習を調整する姿

視点1「学習の見通し」●学習の進め方シートでの学習過程の把握と評価内容の把握

第1・2時 「学習の進め方シート」により、学習の進め方とゴールについて見通しをもち、学習を進めている場面

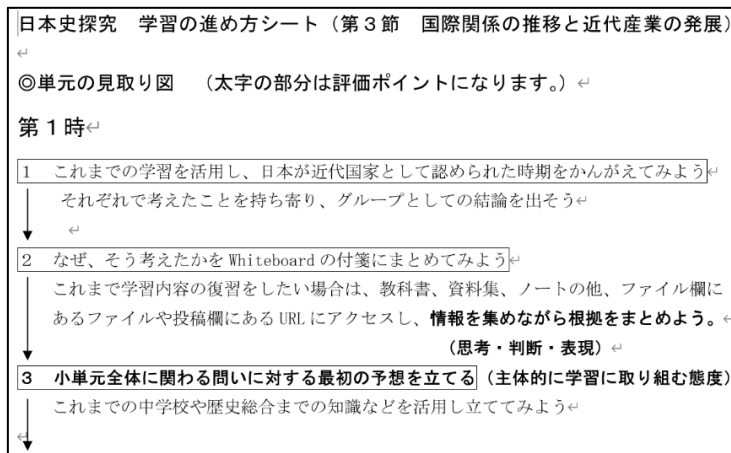


図1 「学習の進め方シート」内容

配付された「学習の進め方シート」(図1)の説明を受けたのち、グループで、シートの内容を確認しながら、学習活動を進めていた(図2)。グループの中で、誰が何を調べ、誰が入力するのかを話し合いながら取り組む姿が見られた(図3)。



図2 協働しての取組場面



図3 グループでの役割分担場面

「学習の進め方シート」は、生徒が主体的に学習を進められるよう、フローチャートで上から下に向かって本時のゴールに行き着くように示した。また、授業の中での生徒のゴールの姿を太字で示すことにより意識しやすいようにした。その結果、どの生徒も学習活動が滞ることなく、グループのメンバーと時折、活動を確認し合い

ながら進めていた。授業を休んだ生徒もこのシートがあることにより、グループの活動にスムーズに参加することができていた。改善点は、他のワークシートと同じクラウド上で共有できるようにすることである。それにより、生徒が自分のタイミングで学びの調整を行いやすくなると考える。

視点2「学習課題を解決するための学習活動」●知識構成型ジグソー法を用いた課題解決

第1・2時 クラウド上の表への記入状況、その理由の記述状況を相互閲覧し合える場面

日本が世界から近代国家として認められた時期について、クラウド上のホワイトボードにある表にその時期として考えられる位置にマークし、その理由をグループ内で話し合い、記入していた(図4・図5)。それぞれのグループのマークした位置には違いがあり、その理由も小村寿太郎による関税自主権の回復、日露戦争での勝利、大津事件での毅然とした最高裁の態度など様々であった。このことにより、生徒はグループ内で明治時代の流れを復習するとともに明治時代を政治面や外交面様々な側面から考察している様子がうかがえた。この考察を経たことにより、明治時代の日本の躍進を支えた要素としての産業革命や教育の拡充、西洋文化の積極的導入といったこれから行う学習内容への関心を引き出すことができた。そのことはその後の単元シートへの記入の様子からもこの学習活動が小単元に関わる問いへの関心を高めることに効果があったことがうかがえた(図6)。



図4 クラウドを活用した取組場面

Timeline of Japanese Imperialism:

- 幕府時代 (1853-1868):**
 - 1853: 黒船来航 (Black Ship Arrival)
 - 1854: 日米和親条約 (Treaty of Amity and Commerce)
 - 1858: 安政五ヶ条 (Ansei Five Articles)
 - 1868: 明治維新 (Meiji Restoration)
- 明治時代 (1868-1912):**
 - 1871: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
 - 1895: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
 - 1904: 日露戦争 (Russo-Japanese War)
 - 1911: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
 - 1912: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
- 大正・昭和時代 (1912-1945):**
 - 1912: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
 - 1914: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
 - 1915: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
 - 1918: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
 - 1921: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
 - 1925: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
 - 1931: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
 - 1937: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
 - 1941: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)
 - 1945: 日清戦争 (First Sino-Japanese War)

○小單元全体に関わる問い

産業・交通の発達、教育の拡充、西洋文化の積極的導入のうち、あはたか、最も明治時代を特徴づける要素はどれだと思うか根拠を基に記述したい。

小單元全体に関わる問いに対する予想

西洋文化の導入

⇒考倉便箋図が欧米視さつに行つてゐなかつたら西洋とかの文化は入つてきこないのではないかと…

・ぜんざい・漬物、今の漬物、今の日本人が毎日食べている料理ほど生活の基礎となる部分だと思ふ。

図5 クラウド上の記述状況

図6 単元シートでの問いに対する予想

第3・4時 日本の産業革命の特徴とその影響について、知識構成型ジグソー法を用いた課題解決に取り組む場面

日本の産業革命の特徴、産業革命が及ぼした影響について、グループで役割を分担して調査し、クラウド上のワークシートにまとめる活動を行った(図7)。生徒は、教科書やインターネット、URLを提示した動画などから自分に合った調査方法を選択し、学習を進めていた。活動が停滞したグループは、クラウド上で他のグループのまとめ方を参考に



停滞したグループは、クラウド上で他のグループのまとめ方を参考に 図7 グループワークに取り組む場面
して、日本とイギリスの共通点と相違点をまとめていた(図8)。第4時の終末での単元シートへの記入状
況では、他のグループから学んだ情報を踏まえたまとめが記述されていた(図9)。

の状況に合わせて教科書も含めた複数の学習方法から選択し、学習を進めることができた。

また、学習課題のまとめは個人で行い、タブレット端末、スマートフォンで撮影し、投稿することにより、授業者がその内容を評価、助言することで生徒は学習後も内容について学び直すことができるようにした(図 11)。

課題としては、通信環境により、動画を同時に多数視聴すると動画が再生されづらいという状況が生じることから、動画視聴に関しては、グループで一つ又は二つの機器で行うなどの配慮が必要である。

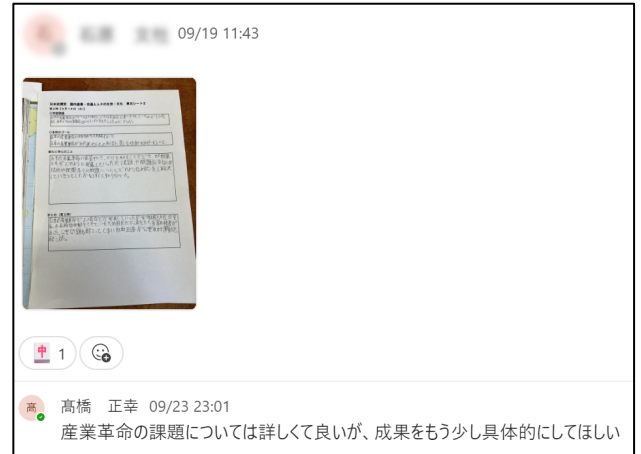


図 11 個人のまとめへの助言・評価場面

視点 3 「学習の振り返り」●単元シートでの学習内容の把握と振り返り、新たな問いの表現

第 5 時 学習の連続性をもたせ、自らの学びを振り返る単元シートの記述場面

図 14 は、第 5 時の終末において、生徒が記述した小単元に関わる問いに対するまとめの状況である。この生徒は、図 12 にあるように、第 1 時において、小単元に関わる問いへの予想として、既習内容である岩倉使節団、文明開化での具体例として学んだざんざり頭、街灯を挙げるとともに、生徒自身が食べている食事を例に挙げて、明治時代を特徴付けるものとして西洋文化の積極的導入と答えていた。その後、単元の学習を通して、図 13 にあるように、教育の拡充の影響として学校令により、義務教育となったことで就学率が上がったことや授業料の廃止で、どの家庭でも教育が受けられるようになったことをまとめていた。第 5 時の終末でのまとめの内容を見ると学びを進める上で参考にした内容として、第 5 時のまとめになかった制服の導入が軍隊でも使われたことを挙げていた。この生徒は、第 1 時での自分の考えと第 5 時での学びで他グループが挙げた内容としての学校教育の中で西洋文化を普及させていったことを組み合わせて、学制の発布、義務教育の開始と無償化が就学率を上昇させ、識字率を大幅に向上させたことを理由として教育の拡充が明治時代を最も特徴付けるものと結論付けていた。また、新たな疑問や関心として、文化の波及に関心をもち、受容だけでなく、文化の発信・波及といった視点をもち、これからの学習に意欲をもつ様子が読み取れた。

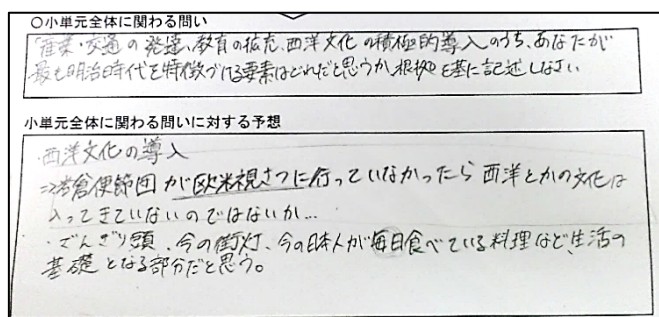


図 12 第 1 時の予想

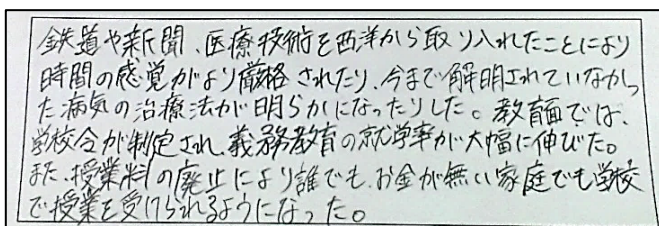


図 13 第 5 時のまとめ

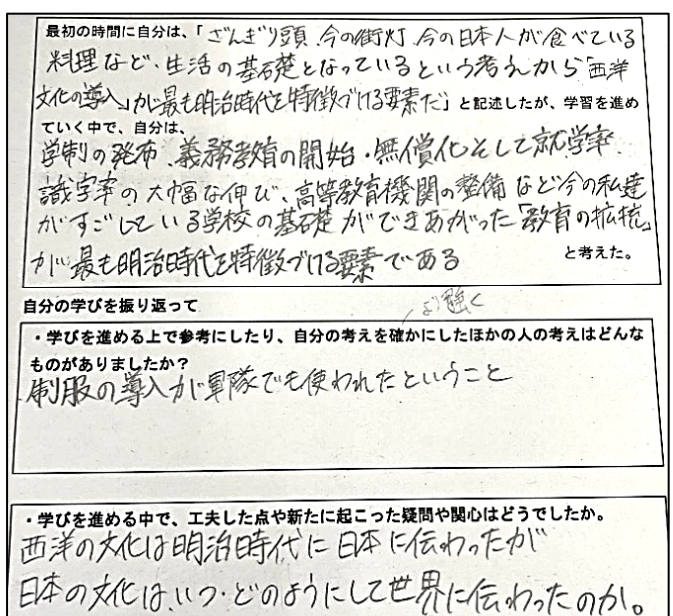


図 14 第 5 時終末時の単元のまとめ